

編集後記

法人化以降、広報の重要性が認識され、今まで想定していなかったような‘読者’に対しても、いろんな媒体を通じて情報発信する機会が増えてきています。そういう中で、年2回発行の「分子研レターズ」は最もよく読まれている媒体でしょう。想定している主たる‘読者’は分子科学コミュニティですが、分子科学研究所からの情報発信の場としてばかりでなく、分子科学コミュニティから分子科学研究所への提言をいただく場としてユニークな存在になっています。

‘読者’から読後の感想を伺う機会が多々あることも「分子研レターズ」の特徴です。それは、創設以来35年間に亘って、分子科学コミュニティの多くの方々が研究所の運営に関わって下さっていることや、活発な人事流動によって多くの分子研OBが分子科学コミュニティで活躍されていることが効いていると思われまます。

編集委員会では、分子科学コミュニティ（広い意味での）から更に多くの‘読者’が「分子研レターズ」に‘参加’していただけるように、記事の在り方について見直しているところです。今回もいくつか新しい試みをしました。今後、研究所が作成する他の媒体と全く違って‘生の声’が聞ける「分子研レターズ」の特徴を更に強化していきたいと考えています。

最後になりましたが、今回も、ご多忙中にも関わらず、執筆を快諾して下さった皆様に大いに助けられました。深く感謝を申し上げます。

編集委員長 小杉信博